



泉新だより

令和 5年11月1日
練馬区立泉新小学校
校長 宮崎 晴美

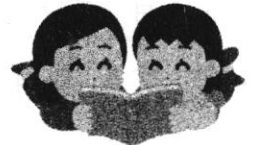
教育目標 : 思いやりをもち助け合う子 よく考え進んで学ぶ子 健康でやりぬく子

学習発表会に向けて

校長 宮崎 晴美

朝晩の冷え込みが肌寒さを感じる季節となりました。紅葉も、もうそこまで来ているようです。

10月は、学級閉鎖も多数ありましたが、読書月間の様々な取り組みで「読書の秋」を充実させることができました。御協力いただきました図書ボランティアの皆様、ご家庭で親子読書等に取り組んでいただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



11月は、「芸術・文化の秋」です。本校では、秋の文化的行事を「音楽会」「展覧会」「学習発表会」の順に3年サイクルで行っています。今年、「学習発表会」の年です。『心を一つに！一生懸命 やりきろう！』をスローガンに各学年とも練習を始めています。80名を超える学年児童全員の「心を一つに！」するのは容易なことではありません。練習を積み重ねる中で少しずつ築いていけるのだと思います。

グループ練習では、友達の動きや話し方を見合い、聴き合いながら表現力を磨きます。その中から、主体性や協力する態度、折り合いを付ける力などが育ちます。学年全体での練習では、自分の台詞や演技などのほかに、自分が演じていないときや舞台袖にいるときの態度、友達の演技を見る態度などを学びます。その中で、他者を尊重したり敬意をもったりする心、集団の中での規範意識、全体の中で自分の役割があるという役割意識などが育ちます。そして何より、みんなで一つのことを創り上げたという達成感・仲間意識が高まるのです。友達と意見がぶつかったり、励まし合ったりしながら何度も同じ練習を繰り返し、出来上がっていく喜びを一緒に分かち合って自己有用感を高め、みんなの心が一つになっていくのだと思います。



10日(金)は、児童と来賓の皆様へ、11日(土)は、保護者の皆様へ向けて発表します。ぜひ来校いただき、子供たちの心を一つに！一生懸命 やりきった！姿に、大きな拍手を送っていただければ幸いに存じます。どうぞよろしく願いいたします。

「学習発表会」は、昔の「学芸会」と何が違うのですか？という質問が寄せられました。9月の学校だよりで、エジプトの TOKKATSU の話でもお伝えした通り、日本の学校では、教科の学習に加えて特別活動があります。その特別活動の一つとして「文化的行事」があります。これは、平素の学習活動の成果を発表し、子供たちの意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動を言います。「学芸会」は、この文化的行事に当たります。「学習発表会」も位置づけとしては「学芸会」と大差はありませんが、既存の劇を演ずるのではなく、教科や総合的な学習の時間に学んだことを発表するという点が違います。

特別活動の時間は、時間割上では1年間で僅か35時間です。特別活動の時間だけでは子供たち自身満足のいく発表には至りません。泉新小学校で計画している学習発表会は、本番のために作る発表会ではなく、日々の教科や総合的な学習の時間の学びから得た知識や技能を披露する場としました。発表の型式は学年ごとに様々な工夫があり、見どころのひとつでもあります。ご期待ください。